

はじめに

グローバル化が進展する昨今、国際共通語としての「英語」でコミュニケーションを図ることが必要不可欠になっています。

平成 25 年 3 月に策定された大阪府としてめさず基本的な教育目標や施策の大綱を取りまとめた「大阪府教育振興基本計画」で示した「人づくり」の一つにも「大きく変化する社会情勢や国際社会の中で、自立して力強く生きる人づくり」が挙げられています。

大阪府教育委員会では、平成 23 年度から子どもたちが英語でコミュニケーションができるようになることをめざし、小・中・高等学校において「使える英語プロジェクト事業」を実施してまいりました。

本プログラムは、その成果を取りまとめたもので「理論編」と「実践編」の 2 部構成になっています。

「理論編」では、平成 24 年度に実施したワーキング会議での内容等を踏まえて、指導計画、指導のポイントや評価の在り方などを示しました。加えて外国語（英語）科担当の教科会議で活用できるように「Work Sheet（ワークシート）」も提示しています。

また、「実践編」は、実践研究校からいただいた授業のアイデアを取りまとめたものです。ここでは、「どのような場面で」、「誰にむけて」発信するのか、また「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の 4 技能をどのように統合させるかに留意した実践を集めました。

このプログラムが、今後、府内すべての小・中学校において活用され、学校で「学んだ英語」を実際に「使える英語」へと変容させるような授業づくりへの一助になることを願っています。



大阪府教育委員会事務局
市町村教育室小中学校課

プログラムの構成と使い方

本プログラムは「義務教育終了段階で自分の考えや意見を英語で正確に伝えることができる」ことを目的とした「使える英語プロジェクト事業」の研究成果をとりまとめたものです。

1. プログラムの構成

【理論編】

構成

- 第1章 到達目標と評価 (キーワード) 評価のマトリックス
- 第2章 活用の時間 (キーワード) 場面意識、相手意識
- 第3章 習得の時間 (キーワード) 家庭学習の要素分析

特長

- 到達目標から逆算されたテストの作成や評価の在り方、授業（「活用の時間」「習得の時間」）計画など、いわゆるバックワードデザインのコンセプトで構成されています。
- ワークシートの作成を通じて、各章のポイントを具体的にイメージすることができるように構成されています。

【実践編】

構成

- 第4章 小学校実践事例 ・ 5年生3事例・6年生3事例
- 第5章 中学校実践事例 ・ 1年生6事例・2年生3事例
・ 3年生2事例

特長

- 小・中学校合せて17種類の実践事例が掲載されています。いずれも「どのような場面における、誰とのやりとりであるか」という「場面」と「相手」を意識した活動に焦点が当てられています。
- 「活用の時間」に至るまでに、どのような授業の積み重ねが必要であるかを、実践事例で紹介しています。

《資料》

構成

1. 使える英語プロジェクト事業とは
 - ・ 「すらすらリスト」「わくわくシート」とは
 - ・ 英語教室整備例
2. 「CAN-DO リスト」について

特長

- 「使える英語プロジェクト」と英語教育に係る情報が掲載されています。
-

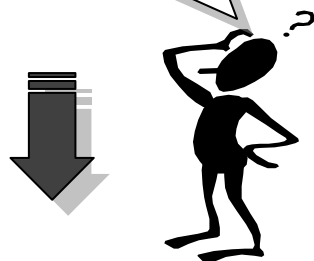
2. 使い方

本プログラムは、活用目的により【理論編】と【実践編】のどちらからでもご利用いただけます。どちらから読み進めていただいても構いません。

■ 【理論編】から進めるケース

授業に関する相談事例

今以上に見通しのある授業がしたい。また、児童生徒が主体的に活動に取り組む授業をしたい。



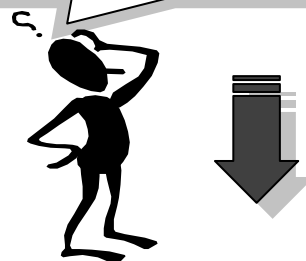
《プログラムの活用方法例》

1. 第1章から第3章（【理論編】）で必要となるポイントをワークシートの作成を通じて具体的にイメージする。
2. 具体的な授業展開例として第4章と第5章（【実践編】）を読む。

■ 【実践編】から進めるケース

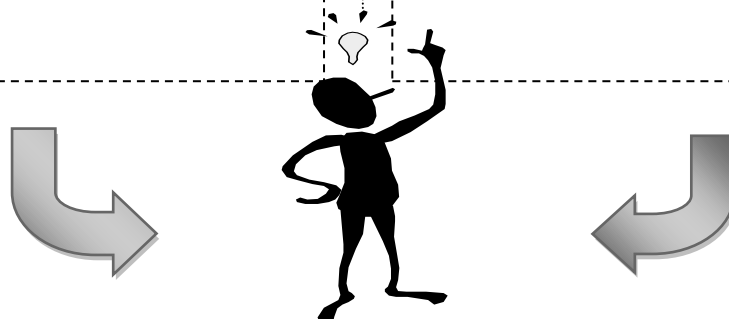
授業に関する相談事例

研究授業で参考になる具体的な授業のアイデアが欲しい。特に児童生徒に活動させる場면을重視したい。



《プログラムの活用方法例》

1. 第4章と第5章（【実践編】）から具体的な実践事例のイメージを持つ。
2. 実践するために必要な理論をつかむために、第1章から第3章（【理論編】）を読む。



「理論」と「実践」の一体化

英語を使うなになわっ子育成プログラム目次

- ・はじめに
- ・プログラムの構成と使い方

【理論編】

第1章 到達目標と評価 ～バックワードデザインの授業づくり～ 1

- 1.1 「目標」にのっとった指導計画について … 3
Work Sheet 1 目標の整理
- 1.2 「指導と評価の一体化」のための計画について … 7
Work Sheet 2 「できるようになること」の整理
- 1.3 「評価のマトリックス」について … 11
Work Sheet 3 「評価のマトリックス」

第2章 活用の時間 ～英語での「発信力」を高める授業づくり～ 15

- 「活用の時間」の授業づくりについて … 16
Work Sheet 4 「活用の時間」のアイデア

第3章 習得の時間 ～英語での「発信力」の土台となる授業づくり～ 21

- 「習得の時間」の授業づくりについて … 22
Work Sheet 5 「家庭学習の要素分析」
-



4.1 小学校5年生

- ① 自己紹介をしよう …29
- ② クイズ大会をしよう …35
- ③ ランチメニューを作ろう …41

4.2 小学校6年生

- ④ できることを紹介しよう …47
- ⑤ 道案内をしよう …53
- ⑥ 将来の夢を紹介しよう …59

5.1 中学校1年生

「習得の時間」

- ① 繰り返し音読して本文の表現を習得しよう …67
- ② 活動をとおして語彙や表現を習得しよう …73
- ③ 新出表現を何度も練習しよう …79

「活用の時間」

- ④ 「友だちに聞いたこと」をALTに伝えよう …85
- ⑤ 写真を使って説明しよう …91
- ⑥ オリジナルのスキットをつくろう …97

5.2 中学校2年生（「習得の時間」と「活用の時間」）

- ⑦ クラスメイトに「私の夢」をスピーチしてみよう …103
- ⑧ 「わたしたちの街」をスライドショーでプロモーションしてみよう …109
- ⑨ グローバルイシューについてポスターセッションしてみよう …115

5.3 中学校3年生（「習得の時間」と「活用の時間」）

- ⑩ 「地域の伝統文化」をテーマにスピーチしてみよう …121
- ⑪ 自分の「使える英語」でディベートを体験してみよう …127

《資料》

- 1. 使える英語プロジェクト事業とは …134
 - 2. 「CAN-DO リスト」について …140
-